

令和5年度 事業報告

当センターは、地域の高齢者の多様な就業ニーズへの対応、高齢者の生きがいづくりと社会参加の推進に努めております。

令和5年度においては、5月に新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」へと移行したことから、経済活動もコロナ禍前の状況にほぼ戻ってきました。

会員数については、高齢化による就業不能者の増加により、退会者は31名（前年度比5名減）、新規入会者33名（前年度比10名減）、うち既存会員からの紹介による入会者が10名（前年度比4名増）となりました。これにより、年度末時点での会員数は342名、対前年度比2名増となり、2年続けての会員の増加となりました。

また、令和2年度から施行の「特別会員制度」については、特別会員登録者は11名（前年度比4名増）となっており、退会抑制の面では一定の成果が得られています。

令和5年度の受託事業実績は、受託件数が2.4%減となりましたが、契約金額については昨年度と同水準となっています。

労働者派遣事業については、経済活動が回復基調にあり、新規契約が増加した一方、高齢化等による人材確保が困難となり、就業内容によっては受注が不可能な事態となりました。このため、事業実績は契約金額で対前年度比3.2%減となりました。

「空き家等管理業務」及び「介護予防・生活支援事業」については、関係機関と連携を図りながら、利用者の希望に添ったサービスの提供を行い、受注機会の拡大や就業会員の確保に努めました。

会員の確保においては、令和3年度から引き続き「会員一人、一会員獲得運動」を推進しました。また、既存会員には、地区交流会等のイベントやボランティア活動等を通じて、就業面だけではない多面的なシルバークラスの魅力を継続して発信し、会員の満足度の向上につなげていきました。

マッチング機能については、毎月第2・第4月曜日開催のお仕事説明会における個別相談を行うことで、入会希望者の希望職種等を把握し、発注業務とのマッチングに努めました。

また、砺波公共職業安定所小矢部出張所（ハローワーク小矢部）で毎月第3水曜日に開催している出張説明会においては、ハローワークと連携して高齢者の多様な働き方の提案を行い、新規会員の獲得とマッチングの両面から就業につながるよう努めました。

令和5年度は、第2次中長期計画（令和元年度～令和10年度）の中間年度にあたることから、現在のシルバークラス人材センターの役割を再確認し、見直しに取り組み、令和6年度から令和10年度の5年間における、第2次中長期計画（後期計画）を策定いたしました。

令和5年度の事業運営にご理解とご協力をいただいた発注者の皆様と会員はじめ関係各位には深く感謝申し上げます、令和5年度の事業実績について以下のとおりご報告申し上げます。

○会員の状況（年度末）

	令和4年度	令和5年度	増 減
男 性	217名	215名	2名減
女 性	123名	127名	4名増
合 計	340名	342名	2名増

会員の平均年齢 75.1歳（男性75.6歳、女性74.4歳）

○受託事業実績

	令和4年度	令和5年度	前年度比
受託件数	3,313件	3,232件	97.6%
契約金額	127,278,930円	126,951,628円	99.7%
就業延人員	25,531人日	24,729人日	96.9%
就業率	74.4%	72.8%	97.8%
〃 (派遣を含む)	87.3%	84.8%	97.1%

○派遣事業実績

	令和4年度	令和5年度	前年度比
就業会員	63人	63人	100.0%
就業延人員	6,013人日	5,986人日	99.6%
契約金額	36,103,814円	34,937,602円	96.8%